

女性のための交流会 「まいばら女子会」を開催

まちづくり、子育て、環境、教育、観光、特産品…など
いろいろな分野で活動する女性のための交流会を開催します。

- 日 時 11月24日(木)14時～16時
- 場 所 ルッチプラザ 粗！一寸
- 参加費 飲み物代（コーヒー300円）
- 人 数 15人程度
- 申 込 11月21日(月)までに政策調整課へご連絡ください。



難しい話し合いや結果を求め
る議論の場ではありません。
今後、月に1回開催しますの
で、お気軽にご参加ください。



もっと活動の幅を広げたい、仲間を増やしたい、
こんな時みんなどうしてる？
といった活動していくうえでの悩みや疑問を持っているあなた。
何か始めたいけどきっかけがない、男の人ばかりで入りにくいなど、
活動に興味があるけど最初の一步が踏み出せないあなた。
『まいばら女子会』に気軽に参加してみませんか？
米原市に関わりのある女性の方なら誰でも参加していただけます。
今回は、人権政策課から米原市「女性人材バンク（きずなウーマンネ
ット）」について情報提供もあります。

☎ 政策調整課(米原庁舎) ☎ 52-6626 FAX 52-5195



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。
熱意をもって活動されているみなさんの「心
意気」をレポートします。

長沢ふなっ子の会

- 会 員 21人
- 会 費 入会金10,000円 年会費5,000円
- 連絡先 ☎52-1364 (沢野邦三)



長沢ふなっ子の会では、魚が産卵のために琵琶湖から水田
に遡上できるように魚道を整備する「魚のゆりかご水田」や
里池（ミニピオトープ※）を作っておられます。昔のように
生き物が帰ってくる、生き物が見られるようなまちづくりを
目指して活動されています。こうした取り組みによって、平成
20年度には田園自然コンクールで「農村振興局長賞」を受
賞されました。

琵琶湖からはフナ、コイ、ナマズなど多数の魚が遡上して
くるそうで、元気よく川を上る姿には思わず歓声があがると
のこと。また、年に1回「お魚観察会」として、ゆりかご水
田で孵化した稚魚を子どもたちと一緒に琵琶湖へ戻していま
す。水田にいる稚魚をみんなですくい、琵琶湖へ放流する前
に、どんな魚が遡上してきたかを専門家からわかりやすく説
明してもらいます。子どもたちは普段見ることのない魚の姿
を熱心に観察しているそうです。そのほかにも、稚魚の一部
を里池に放流し飼育しているとのこと。里池には水質浄化の
ため花菖蒲なども植えており、魚を飼育しながら池の手入れ
や管理をされています。

琵琶湖に近い地域だからこそ琵琶湖の環境を守り、昔から
の自然を残したいと集落ぐるみで環境のまちを目指されてい
ます。

※ピオトープとは、生き物が自然のままに生息できる場所

お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) 掲載希望はこちらまで
☎52-6626 FAX 52-5195